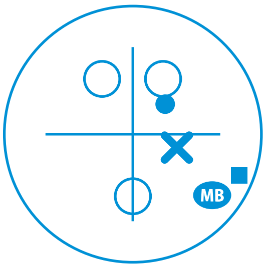
ボールの特性レポート
BALL REPORT

ABS

ボール名	投球者	センター
ルールデルタ 1	徳江 和則	平和島スターボウル

RG	△RG	
2.555	0.050	● ピン　★ PAP　✕ CG　■ バランスホール



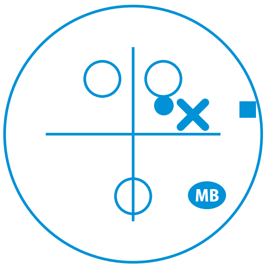
テストボール

フレアーの幅　　インチ

PAPからピンとの距離　5 1/4 インチ

表面加工
- ☑ 箱出し状態
- ☐ 加工
- ☐ ペーパー　　番
- ☐ ポリッシュ

研磨剤



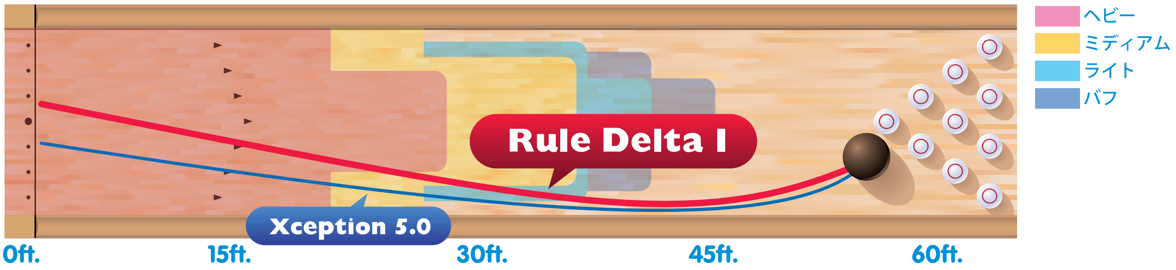
比較対照ボール：エクセプション 5.0

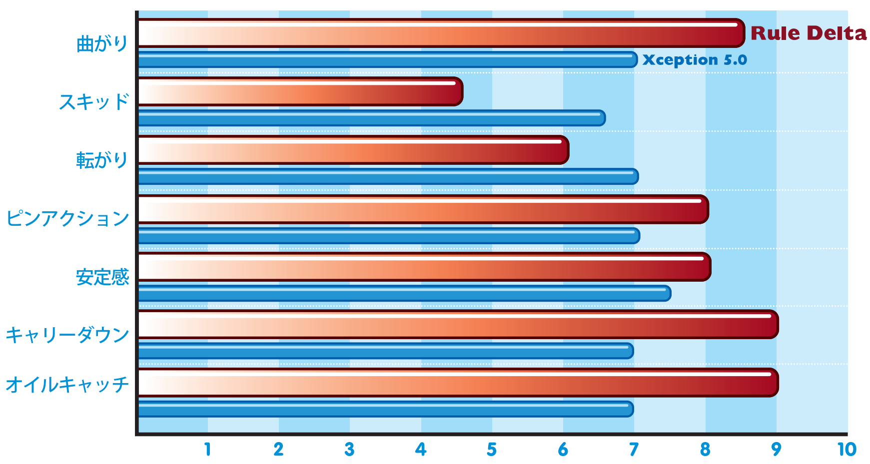
フレアーの幅　　インチ

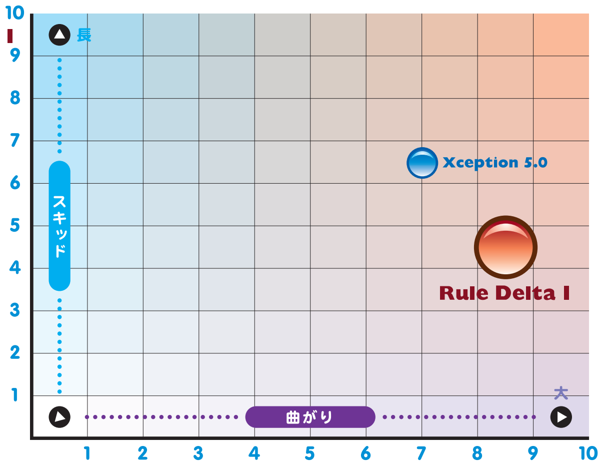
PAPからピンとの距離　5 1/4 インチ

表面加工
- ☑ 箱出し状態
- ☐ 加工
- ☐ ペーパー　　番
- ☐ ポリッシュ

研磨剤







ボールの評価

900 番のサディング仕上げでスキッドは短く、手前からの強いキャッチ力を感じる。今回の DELTA 1 コアはスピンタイム 5.2 という早い軸移動の設定でもあり、GOO LSReactive との組み合わせで、早いボールの立ち上がりはもちろんのことスキッドしてからのロール時間が長く感じられるボールです。

全般的に早めのロールに移行する設定のボールは、曲がり終わってしまい、曲がりの印象がボケて感じられることが多いのですが、このルール デルタ 1 はストロング・アーク状の最後まで終わらない力強い曲がりを出すことに成功しています。

このボールの最大の特徴は。早めにロールに移行させせることにより、手前からのキャッチ力を活かし、キャリーダウンに左右されることを軽減し、フックゾーンでのボールスピードを減速させせることにより、タップも軽減されるよう意図的に設定しているということでしょう。

適応コンディションはミディアムからヘビーオイルに対応しており、ボールのスピードが速く、曲がり感が得られないタイプのボウラーには是非使用していただきたいボールです。

トラック社デル・ウォーレンがマスバイアス理論のノウハウを注ぎ込んで自信を持って送り出してきたルール デルタ 1。

カバーストックとの相性も抜群でピンアクションも非常に柔らかく、今一押しオススメのボールです。

特記事項

キャリーダウンに強く、特に曲がりを得たいボウラーに使っていただきたいボール。
ロール時間を長く意図的に設定した訳は投球していただければ解ります。